

議会だより

目次

行政報告	2～3
町政のそこが聞きたい	4
一般質問	5～6
常任委員会の動き	7
予算審査特別委員会	8～9
第2回議会活性化研修会	10
議員出欠状況	11
寄稿	12



わたしたち、新1年生です!

4月9日、川北小学校（藤吉桂子校長、全校児童生徒87人）の入学式が挙行されました。

今年の1年生は10人、全員が女子。ステージに上がり、一人ひとり紹介され、わくわくどきどきの緊張した様子で、小学校生活のスタートを切りました。

発行／北海道標津町議会

編集／広報特別委員会

令和6年 第1回 定例会 (3月5日~12日)

審議内容を報告します

行政報告 (町長)

職員の自死に関する対応

標津町が被告となった令和元年7月の職員の自死に関わる損害賠償請求事件については、令和6年2月2日に釧路地方裁判所において判決の言い渡しがあった。

町としては、判決を真摯に受け止め控訴しない判断をし、2月19日に判決が確定したところである。

判決に伴う賠償金等については、双方代理人を通じて金額の確認が行われることとなっているので、金額が確定次第、補正予算の提案をさせていただきたい。(その後、金額確定により補正予算を可決。P3参照)



定例会の様様 (3月5日)

ご遺族に対して、改めてお詫びを申し上げるとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

今後、二度とこのようなことが起こらないよう開かれた職場づくりに努めて参りたいので特段のご理解を賜りたい。

標津病院の久留米大学との連携強化

昨年、久留米大学

において申請されていた久留米大学病院・脳神経内科の特別連携施設について、標津病院が認定されたとの連絡をいただいた。

特別連携施設に認定された医療機関に勤務する中で、神経内科の専門医を目指す医師に

とって必要な研修の場となることから、医師の育成に寄与するとともに、派遣先としてより一層選ばれる医療機関となることのできた。この認定は日本神経学会により承認されるもので、期間は令和5年10月1日から令和7年3月31日となっている。

また、現行の認定期間が本年3月31日までとなっている外科学講

座の教育関連診療科についても、引き続き認定いただけることで内諾をいただいております。令和10年3月31日まで認定をいただいている内科学講座とともに、今後も本町の医療基盤の安定強化にご協力をいただけるものと心強く思っているところである。

このいづれもが久留米大学様の多大なるご理解と手厚いご支援によるものと深く感謝いたしており、また、より一層の信頼関係構築につながるものと大変喜ばしく思っている。

今後においても、安定的な医療提供体制の維持・強化を図るため、引き続き久留米大学との強固な関係を築いていくよう努めて参るので、ご理解をお願いする。

除雪経費の状況

除雪経費のうち委託料の支出状況は、2月15日まで当初予算の約67%の55,353千円の支出が確定している。

1月に連続して接近した低気圧によってもたされた暴風雪により除雪の出動が多かったのに加え、古多糠・北標津・西北標津地区で強風による吹きだまりが多く発生し、出動回数と時間がより多くなっている状況である。

今後の降雪状況次第では除雪費が当初予算を上回る見込みも否めなく、財源に不足が生じた場合には専決処分（地方自治法第179条に基づき、議会を招集する時間的余裕がない場合等に町長が決定）により予算を確保させていただくのでご

理解をお願いする。

同意・諮問

▽根室町村等公平委員会委員の選任について（同意）

石田順一氏（羅臼町）の選任を同意

任期は、令和6年4月1日～令和10年3月31日

▽人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（諮問）

佐々木智恵美氏の推薦を同意

任期は、法務大臣の委嘱の日から3年間

予算審査

令和6年度の一般会計予算、特別会計予算などは予算審査特別委員会で審議。P8、9を参照。

一般会計の補正予算(主なもの)

(単位:千円)

項目	金額	内容
減債基金積立金	14097	普通交付税追加交付分臨時財政対策債償還費基金分の積立など。【減債基金】…町債（借金）の返済に充てる財源を確保するための基金（貯金）
ふるさと応援基金積立金	209990	ふるさと納税受領見込額の積立
物価高騰支援給付金（均等割課税世帯）【繰越明許費】	15239	住民税均等割のみ課税世帯に対し、1世帯あたり10万円を支給。対象150世帯を想定。国が全額補助。【繰越明許費】…翌年度に繰り越して使用する経費
物価高騰支援給付金（低所得子育て世帯）【繰越明許費】	5179	低所得子育て世帯に対し、1人あたり5万円を支給。対象100人を想定。
障がい者介護・訓練等給付費	37769	決算見込みによる給付費の追加。国道補助25352千円
鮭ちょうちん・プロジェクト【繰越明許費】	6000	ノリウツギを原料とした和紙による、鮭ちょうちん作成費用。企業版ふるさと納税を活用
漁業振興特別対策	17055	サケ定置漁業者の増殖事業負担金の一部について支援
損害賠償請求事件経費	103556	令和元年7月の職員の自死に関わる損害賠償請求事件に係る賠償金及び遅延損害金。賠償金83923千円、損害遅延金19633千円

一般質問

一般質問とは、定例会において、各議員が住民を代表して、行政全般にわたり町執行機関の政策・方針を質す事です。
単に疑問を晴らし、事実関係を明らかにするだけでなく、現行の政策を見直し新規政策を提言する、議員の重要な活動です。

町政のそこが聞きたい

◆令和6年第1回定例会(3月5日~12日)で2議員が一般質問をしました。
両議員の質問項目とその内容を要約して掲載します。

5 頁

石橋昌幸議員

● 能登半島地震を教訓として

標津町の災害対策を問う！

◆元旦の能登半島地震を教訓としての、標津町の災害備蓄品・避難所及び避難支援の対応を質した。



質問中の石橋議員



6 頁

吉田智議員

● 未曾有の『超高齢社会』に突入

高齢者が安心して暮らし続けられる

『^{つい}終の住処^{すみか}』としての標津町を！

◆高齢者が高齢化している標津町。高齢者が『終の住処』として、安心して暮らし続ける為の所見を質した。



質問中の吉田議員



能登半島地震を教訓として 標津町の災害対策を問う！

問 地震災害については、幾度も取り上げて質問しており、委員会でも議論している。私はこの標津町において

は、緊急避難場所、避難所を整えていること、緊急時には防災備蓄倉庫から備蓄品を避難所に運び、使えるように準備していること、そして、こども園、小・中・高、町内会、行政、消防を交えての避難訓練を行っている事を熟知している。しかし、

大きな地震が来るたびに、その避難訓練や避難所は見直していかなければならないと思っ

ている。

能登半島地震規模の地震がこの標津でも突如起こったとき、大きな津波が襲ってくる。その時、標津全域の浜側一帯の住民が津波緊急避難場所へ避難に向かう。標津市街地では2ヶ所、ベキシリ山と望ヶ丘の公園、茶志骨は神社高台、伊茶仁は孵化場付近、忠類は墓地、そこに向かうが、道路、建物の倒壊、それら乗り越えて、標津町民4800人余りが一刻も早く安全に避難できるだろうか、高

齢者や弱者の方々へ、充分配慮されているか、もう一度検証すべきである。命に関わる地震や津波に備えて、住民に避難先・避難経路の事前周知が不可欠。又、その避難先の場所・施設の広さは充分か等の見当も課題。

災害時避難を含め、町の災害対策を問う。

答 能登半島地震で町民の方々も改めて災害に対する備え、この重要性が認識されたのではないかと思っている。

津波警報、大津波警報が発表された場合は、町は避難指示を防災無線などを使って繰り返し呼びかけを行い、緊急避難した後は次の対応として津波で家を失った、あるいは住めない状態の方々を対象に避難所（あすばる、ひまわり等）を開設し、

そこに移動していただく。

以後は災害発生後数日間では北海道など、外部機関からの支援が始まること、が他の災害の例からも十分期待される。この数日間をどう乗り切るか、おおむね1000人分の備蓄を行っておりませんが、財政上の問題を含め、総合的な判断のもとに対応をさせていただいている。

町としては今年度、今までの戸別受信機の更新を行い、野外スピーカーだけではなく携帯のアプリ、Web上で防災行政無線と同じような情報が音声と文字で受け取れるようにし、市街地においては下水道管理センターを新たな避難場所とする。備蓄品にはエアマットの整備や、乳幼児や女性、70歳以上の



新たな避難場所：下水道管理センター

方のみで構成されている世帯への対応、感染症対策、プライバシーへの配慮など、様々な状況を想定し、各種整備を行って、住民のみならず、皆さんの日頃の啓発や防災教育などに取り組んでいくとともに、災害時には迅速に情報伝達できるよう備えて参りますので、ご理解を願いたい。

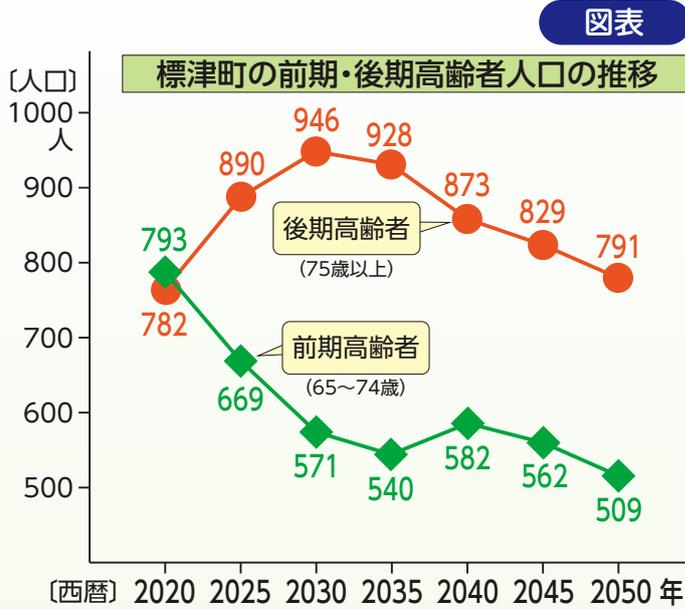
提案 各避難場所・施設に住民が安全に避難できる様願う。

未曾有の『超高齢社会』に突入

高齢者が安心して暮らし続けられる

『終の住処（ついのすみか）』としての標津町を！

◆2024年に第一ベビーブーム世代の「団塊の世代」（昭和22年～24年生）が75歳以上の後期高齢者となり、高齢化が加速する。急速な高齢化は重度の患者や要介護者が激増し、医療費・介護費等の社会保障費が増大し、自治体の負担が大きくなると言われている。↓日本は急速に「超高齢者大国」へ！



▲上記図表は、国立社会保障・人口問題研究所の令和5年の推計値に基づき、質問者が集計・作成したものです。



吉田 智 議員

◆高齢化7%以上の社会を「高齢化社会」、高齢化率14%以上の社会を「高齢社会」と呼ぶ。標津町の様に高齢化率が30%を超え、高齢者の高齢化が急速している社会を「超高齢社会」と呼ぶ。

問 標津町の高齢者人口は、2020年をピークに漸減傾向で推移している。しかし、高齢化率は令和5年9月時点で、31.7%、2025年には33%となる。更に2020年を境に、後期高齢者人口が前期高齢者人口を上向って推移していく。

図表 参照

未曾有の『超高齢社会』に突入している。町は令和6年度保健福祉行政の施策の基本目標の中に、「高齢者が安全・安心に暮らせる笑顔に満ちた町」を掲げている。

※官公民が一体化し持続可能な「健康と福祉の村」を構築し、高齢者が安心して暮らし続けられる『終の住処』としての標津町を望む。総論的な質問となるが、町長の所見を質す。

※官公民：町・病院・社会福祉施設・社会福祉協議会・民間高齢者施設等

答 全ての町民が生涯に渡って健康で生きがいを持ち、安心して暮らせるまちを目指し、特別養護老人ホーム、標津病院、保健福祉センターの3施設を一つのゾーンに集約して今日迄、それぞれの役割を連携を取りながらサービス提供を行って来た。

今後、超高齢社会に対応して行くためには、
① 高齢者が生き生きと活躍できる場の創出
② 健康寿命を念頭に、いつまでも健康に暮せるための医療的方策の構築
③ 在宅介護を含め、介護を受けられる体制の整備
が重要になって来る。

『終の住処』となる様、関係機関・関係団体と一体となり、環境整備に取り組んで行く。

常任委員会の動き

町内行政視察研修

総務経済常任委員会と文教福祉建設常任委員会の委員会活動の報告をします。



▲モトトバ 説明を受ける委員
▼(株)上田組



1月23日(火) 合同常任委員会

【視察研修先】

- ◆コワーキングスペース「モトトバ」
- ◆株式会社 上田組

令和6年1月に標準町議会合同常任委員会として町内立地企業の視察を実施した。今回の視察先企業は、町内でも先進的な取り組みを実践している川北のモトトバと株式会社上

田組。新しく会社を立ち上げたモトトバと標準の老舗企業である株式会社上田組。この両者に共通しているのは、これからの時代を見越しての挑戦と改革の両面である。モトトバは、標準初の※コワーキングスペースとして地域の核となる可能性を秘めている。株式会社上田組は、昨年、事務所を一新し、働きやすい職場作りを目指し社員

のストレスを少なくする取り組みである。

《コワーキング「モトトバ」》
鮭トバの生産販売を

していた旧井関商店を改装して生まれた標準の空間で、その由来より「モトトバ」と命名された。名称から井関さんが浮かぶ人は少なくないかも知れないが、新たなスペースとして生まれ変わった。

昨年、町内全域に光回線が敷設されたことから川北も高速回線が届いている。これにより都会と田舎の距離が大きく縮まった。これを利用して生まれたのがモトトバ。パソコンを持ち込み、コーヒーを飲みながら仕事が出来

《株式会社 上田組》
見た目に事務所とは

見えないくらいの外観に変身した外装は、川北市街地の中でも最新のモード感覚である。事務所の中は職員の決まった机が無いフリースペースとなっており、どこで仕事をして

も良いようになってい

※コワーキング【coworking】: 様々な業種・業態の人々が作業スペースや打ち合わせスペースを共有し、個々の仕事を進めるだけでなく、異業種交流や共同作業等を行う事。
☞動くの意workingに共同を意味する接頭辞co-を付けた語。

予算審査特別委員会

令和6年3月7日～12日

令和6年度 予算原案可決

総額 115億6570万円

一般会計 74億8600万円
5 特別会計 15億3846万円
3 企業会計 25億4124万円

予算審査報告

令和6年度標準町一般会計予算、特別会計予算5件、企業会計予算3件、条例の一部改正5件、合計14件が付託され、3月7日～12日、土口を除く4日間、議長を除く全議員で構成する、予算審査特別委員会（山崎英司委員長・藤本靖副委員長）で理事者及び各課主査以上の職員が出席し慎重に審議。12日の総括質疑では、多くの委員から質疑があり、討論、採決した。

委員会は各会計とも原案どおり可決すべきものと決定した。

予算審査特別委員会終了後、令和6年度第1回定例会において、山崎委員長から委員会審査報告がなされ、可決成立した。

議案番号	議案名	審議結果
議案第1号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第3号	標津町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第9号	標津町介護保険条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第14号	標津町介護サービス利用者負担の助成に関する条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第15号	標津町中小企業融資条例の一部を改正する条例制定	原案可決
議案第31号	令和6年度標準町一般会計予算	原案可決
議案第32号	令和6年度標準町国民健康保険特別会計(事業勘定) 予算	原案可決
議案第33号	令和6年度標準町国民健康保険特別会計(病院事業) 予算	原案可決
議案第34号	令和6年度標準町介護保険特別会計(事業勘定) 予算	原案可決
議案第35号	令和6年度標準町介護保険特別会計(サービス事業勘定) 予算	原案可決
議案第36号	令和6年度標準町後期高齢者医療特別会計 予算	原案可決
議案第37号	令和6年度標準町金山地域休養施設等特別会計 予算	原案可決
議案第38号	令和6年度標準町簡易水道事業会計 予算	原案可決
議案第39号	令和6年度標準町下水道事業会計 予算	原案可決

町民の笑顔輝く「政策パッケージ2024」2つの両輪

～「ひとづくり×まちづくり＝みらいづくり」～

1. 人づくり・町民への支援
2. まちづくり・地域を守る政策



令和6年度標津町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算

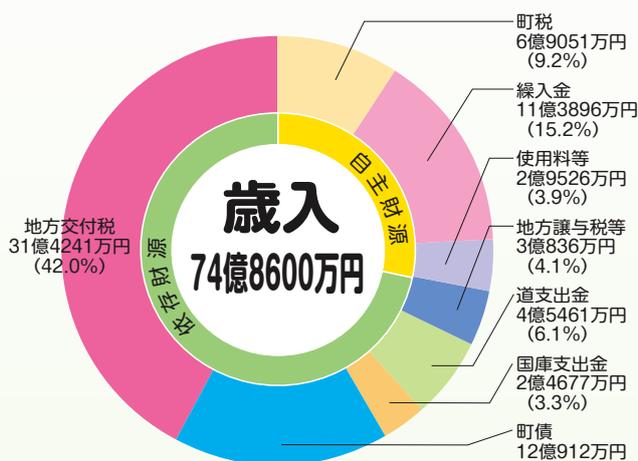
一般会計 町民の笑顔輝く「政策パッケージ2024」の実践

74億8600万円…

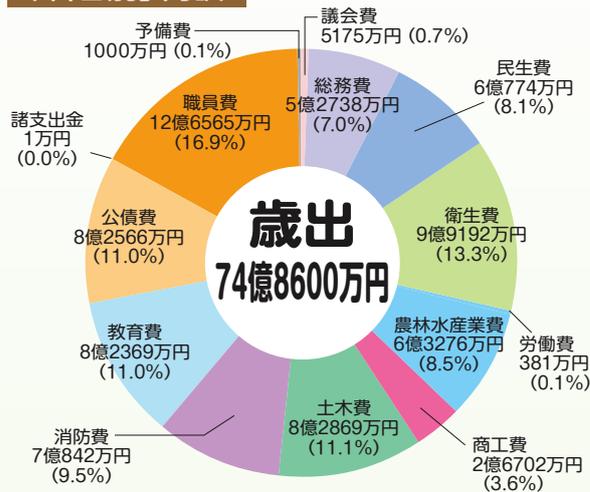
対前年度比
8.2%の増

～災害時の情報伝達方法の多重化・町内循環バスの利便性向上・等々…～

「財源別」内訳



「科目別」内訳



※自主財源 24億3309万円 (32.5%)

※依存財源 50億5291万円 (67.5%)

町債 = 借金

公債費 = 返済金

各会計予算額

会計区分		令和6年度	令和5年度	伸率 (%)
一般会計		74億8600万円	69億2000万円	8.2
特別会計	国民健康保険特別会計 (事業勘定)	8億7717万円	9億2831万円	▲ 5.8
	介護保険特別会計 (事業勘定)	4億5007万円	4億7635万円	▲ 5.5
	介護保険特別会計 (サービス事業勘定)	2975万円	2961万円	0.5
	後期高齢者医療特別会計	1億5168万円	1億4478万円	4.8
	金山地域休養施設等特別会計	2979万円	2648万円	12.5
	特別会計合計	15億3846万円	16億553万円	▲ 4.2
企業会計	国民健康保険特別会計 (病院事業)	13億6880万円	12億9838万円	5.4
	簡易水道事業会計	5億227万円	2億9464万円	70.6
	下水道事業会計	6億6967万円	6億684万円	10.4
	企業会計合計	25億4124万円	21億9986万円	15.5
総計		115億6570万円	107億2539万円	7.8

※各会計の端数処理により、合算と合計額が合わない場合があります。



講演中の勢籜講師

第2回議会活性化サポート事業・研修会開催

町民に開かれた議会を目指す！

講師／北海道町村議会議長会 参与 勢籜 了三氏

2月1日、町民に開かれた議会を目指すため、第2回議会活性化サポート事業・研修会を町議会第一委員会室で開催しました。

町議会議員9人が出席。講師は昨年8月29日開催の第1回同研修会に引き続き、北海道町村議会議長会参与の勢籜了三氏。演題は「議会運営の諸課題と一般質問のあり方」。その要旨を報告します。

議会運営の諸課題

①議会と著作権

議会広報紙へ新聞記事を載せる場合は、新聞社の許諾を得る必要があるなど、著作権について注意すること。

②議会のハラスメント問題

地方議会のハラスメ

ント防止等への対応では、近年は議会議員のハラスメント等に限定した単独条例を制定する議会が現れている。



2月1日に開かれた研修会の様子

③議員の兼業禁止

これまで自治体と議員との請負は、金額の多寡に関わらず禁止されていたが、地方自治法の改正により300万円（年間）の範囲で請負が可能となり、議員のなり手不足に対応。

④会議のインターネット中継

議会中継は増えている。生中継ではなくても録画配信するところも多くなっている。標津町も一歩踏み出してはどうか。

一般質問のあり方

①傍聴者の感想

議員の一般質問への感想は、「担当課に聞けば済む質問」「未来展望の議論や提案がない」「批判ばかりで前に進んでいない」「もう少し勉強が必要」など厳しい見方がある。住民の代表者としての質問内容なのか、本当に聞いて欲しいことを聞いてくれているか。

②質問の何が問題か

住民の声の代弁者となっていない。住民との間に溝・ズレ・距離感がある。

③専門家等の提言

「一般質問の作法心得」：首長の力を知る。主張を相対化する。明確に質問する。執行部(町職員)を軽視しない。

④改めたい質問、うまい質問など

▼改めたい質問：前置きが長い。何を聞きたいか不明瞭。自己の意見と信条ばかりの演説になっている。

▼内容に問題がある質問：伝聞ばかりで裏付けが乏しい。自慢話。よその事例紹介や引用ばかり。

▼うまい質問：量より質。論より証拠。結論から話す。一度に長く話さず短く終える。話にメリハリをつける。相手の話(答弁)を最後まで聞く・頭から否定をしない。

議員の出欠状況 (令和5年度)

出席……○ 欠席……×
〔 〕の委員は複数所属

【定例会】議員10人

年・月・日	氏名 議会名	西	畑	数	藤	山	山	石	吉	小
		山	中	間	本	崎(陸)	崎(英)	南	橋	田
R 5.6.20	第2回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 5.9.13	第3回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 5.12.13	第4回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.3.5	第1回定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.3.6		○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.3.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報特別委員会】委員4人

年月日	氏名	西	吉	藤	畑
		山	田	本	中
R 5.5.10		○	○	○	○
R 5.6.20		○	○	○	○
R 5.7.13		○	○	○	○
R 5.7.21		×	○	×	○
R 5.9.13		○	○	○	○
R 5.10.13		○	○	○	○
R 5.12.13		○	○	○	○
R 6.1.17		○	○	×	○
R 6.1.23		○	○	○	×
R 6.3.5		○	○	○	○

【臨時会】議員10人

年・月・日	氏名 議会名	西	畑	数	藤	山	山	石	吉	小
		山	中	間	本	崎(陸)	崎(英)	南	橋	田
R 5.5.10	第1回臨時会	○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 5.8.7	第2回臨時会	○	○	○	×	○	×	○	○	○

【予算審査特別委員会】委員9人

年月日	氏名	西	畑	数	山	南	石	吉	藤	山
		山	中	間	崎(陸)	崎(英)	橋	田	本	崎(英)
R 6.3.7		○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.3.8		○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.3.12		○	○	○	○	○	○	○	○	○

【議会運営委員会】委員5人

年月日	氏名	藤	山	吉	山	石	小
		本	崎(陸)	田	崎(英)	橋	川
R 5.5.10		○	○	○	○	○	○
R 5.6.13		×	○	○	○	○	○
R 5.9.6		○	○	○	○	○	○
R 5.12.5		○	○	○	○	×	○
R 6.2.27		○	○	○	○	○	○
R 6.3.6		○	○	○	○	○	○

【総務経済常任委員会】委員6人

年月日	氏名	西	藤	南	吉	畑	山
		山	本	田	田	中	崎(陸)
R 5.5.10		○	○	○	○	○	○
R 5.6.7		○	×	○	○	○	○
R 5.7.19		○	○	○	○	○	○
R 5.8.7		○	×	○	○	○	○
R 5.9.27		○	○	○	○	○	○
R 5.10.19		○	○	○	○	○	○
R 5.12.4		○	○	○	○	×	○
R 6.1.23		○	○	○	○	○	○
R 6.2.29		○	○	○	○	○	○
R 6.3.26		○	○	○	○	○	○

【文教福祉建設常任委員会】委員6人

年月日	氏名	西	畑	数	石	山	藤
		山	中	間	橋	崎(英)	本
R 5.5.10		○	○	○	○	○	○
R 5.6.7		○	○	○	○	○	○
R 5.7.19		○	○	○	○	○	○
R 5.8.31		○	○	○	○	○	○
R 5.10.19		○	○	○	×	○	○
R 5.11.29		○	○	○	×	○	×
R 6.1.23		○	○	○	×	○	○
R 6.2.28		○	×	○	○	○	○
R 6.3.26		○	○	○	○	○	○

【決算審査特別委員会】

委員数8人(議長・監査委員除く)

年月日	氏名	西	数	藤	山	吉	畑	石
		山	間	本	崎(陸)	田	南	中
R 5.10.2		○	○	○	○	○	○	×
R 5.10.3		○	○	○	○	○	○	×
R 5.10.5		○	○	○	○	○	○	×

【合同常任委員会】委員9人

年月日	氏名	西	畑	数	藤	山	山	石	吉
		山	中	間	本	崎(陸)	崎(英)	南	橋
R 5.6.13		○	○	○	×	○	○	○	○
R 5.9.6		○	○	○	○	○	○	○	○
R 5.9.7		○	○	○	○	○	○	○	○
R 5.12.6		○	○	○	○	○	○	×	○
R 6.2.16		○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.2.19		○	○	○	×	○	○	○	○

【全員協議会】議員10人

年月日	氏名	西	畑	数	藤	山	山	石	吉	小
		山	中	間	本	崎(陸)	崎(英)	南	橋	田
R 5.6.20		○	○	○	○	○	○	○	○	○
R 6.2.16		○	○	○	○	○	○	○	○	○

寄稿



女性視点から見た標津の農業とまちづくり

標津町農業協同組合

理事 熊谷幸子

昨年七月に女性農業者の皆様への応援をいただいてJA標津の理事に就任いたしました。

まだまだ職員や理事の皆さんに教えていただきながら勉強している最中ですが、まずは理事の仕事の大変多い事に驚き、また組合員の皆様のさまざまな事に責務の多い決断をしなければならぬ事が多々あるのだと重責の思いをひしひしと感じています。

そんな中他町村に先

がけてやっているのが、役員と女性農業者との懇談会があります。男性農業者との懇談会にも参加した事もあります。男性農業者との懇談会にも参加した事もあります。男性農業者との懇談会にも参加した事もあります。

もっていいと言った事でしょうか、是非、町と掛け合ってほしいと言った事でしょうか。またもう一つの取り組みとして、女性農業者の正組員を増やそうと言った事です。

このきびしい酪農情勢を皆で乗り切る手助けの一つにもなると思います。女性目線のこつこつとした積み重ねが継続できる要因の一つになる事でしょう。

私も微力ですが、女性農業者、組合員の皆様の力になるよう努力してまいります。

結びに、商工、漁業、酪農、町民の皆様で手を携える事によって標津町の活性化に繋がる事を願っています。

編集室



流水が沖に去りニシンが獲れ始めた前浜は、いつも通りの季節の移り変わりを教えてくれます。

3月の定例議会は、次年度予算を決める重要な議会となります。産業や普段の生活に関わる案件を精査していく予算委員会は、大切なことを決める場となります。新しい事業もあり、しっかりと内容を聞き、疑問点を確かめる事が大切です。野山では、木の芽も付き出し、これから育って行きます。町の予算も同じです。新しい事業を育てていくことを見て行く必要があります。

残雪も少しずつ消え、あちらこちらで草が見えてきました。桜が咲くのが待ち遠しい季節になりました。

(藤本 靖)